

再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：都市局街路交通施設課
担当課長名：本田 武志

事業名	南海電鉄南海本線・高師浜線（羽衣駅～高石駅間）	事業区分	連続立体交差	事業主体	大阪府																								
起終点	自：高石市東羽衣1丁目 至：高石市綾園7丁目			延長	4.1km																								
事業概要	連続立体交差事業																												
	本事業は、南海電鉄南海本線・高師浜線の羽衣駅～高石駅間の約4.1kmにおいて鉄道を立体化することにより、13箇所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。																												
平成9年度事業化	平成8年度都市計画決定	平成9年度用地着手	平成17年度工事着手																										
全体事業費	617億円	事業進捗率	86%	供用済延長	0km																								
計画交通量	137,985台/日（踏切交通遮断量）																												
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.01 (残事業) 3.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 179/656億円 事業費：184/661億円 維持管理費：0.4/0.4億円 土地の残存価値： -4.7/-4.7億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 664/664億円 走行時間短縮便益 518.6/518.6億円 走行経費減少便益 46.3/46.3億円 交通事故減少便益 9.2/9.2億円 その他：90/90億円	基準年	平成27年																								
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">(事業全体) 交通量</td> <td style="width: 10%;">: B/C=</td> <td style="width: 10%;">~</td> <td style="width: 15%;">(交通量 ±10%)</td> <td style="width: 10%;">(残事業) 交通量</td> <td style="width: 10%;">: B/C=</td> <td style="width: 10%;">~</td> <td style="width: 10%;">(交通量 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>: B/C=</td> <td>~</td> <td>(事業費 ±10%)</td> <td>事業費</td> <td>: B/C=</td> <td>~</td> <td>(事業費 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>: B/C=</td> <td>~</td> <td>(事業期間 ±20%)</td> <td>事業期間</td> <td>: B/C=</td> <td>~</td> <td>(事業期間 ±20%)</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量	: B/C=	~	(交通量 ±10%)	(残事業) 交通量	: B/C=	~	(交通量 ±10%)	事業費	: B/C=	~	(事業費 ±10%)	事業費	: B/C=	~	(事業費 ±10%)	事業期間	: B/C=	~	(事業期間 ±20%)	事業期間	: B/C=	~	(事業期間 ±20%)
(事業全体) 交通量	: B/C=	~	(交通量 ±10%)	(残事業) 交通量	: B/C=	~	(交通量 ±10%)																						
事業費	: B/C=	~	(事業費 ±10%)	事業費	: B/C=	~	(事業費 ±10%)																						
事業期間	: B/C=	~	(事業期間 ±20%)	事業期間	: B/C=	~	(事業期間 ±20%)																						
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・踏切除却により踏切事故が解消される。 ・踏切除却及び渋滞緩和により緊急車両の通行の円滑化が期待される。 ・駅及びその周辺施設の整備にあわせバリアフリー化が促進される。 																												
関係する地方公共団体等の意見	早期の事業完成を望んでいる。																												
事業評価監視委員会の意見	継続について妥当である。																												
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	一部区間で、農地が宅地化されている。																												
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収は100%完了しており、平成28年春南海本線下り線、平成31年春南海本線上り線、平成33年春高師浜線の高架化完了予定。環境側道等の整備を行い、平成33年度末事業完了予定。 																												
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収が難航していたが、鉄道工事は順調に進んでおり、その他の状況に大きな障害はない。 																												
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> ・列車の走行に伴う騒音・振動を低減させるため、ラダー枕木の設置、ロングレールの採用、細粒バラスト使用等、環境への影響を最小限にとどめるよう環境保全対策に配慮している 																												
対応方針	事業継続																												
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・以上の事業の効果及び進捗状況等を踏まえると、事業の必要性、重要性は依然として高いと考えられる。 																												

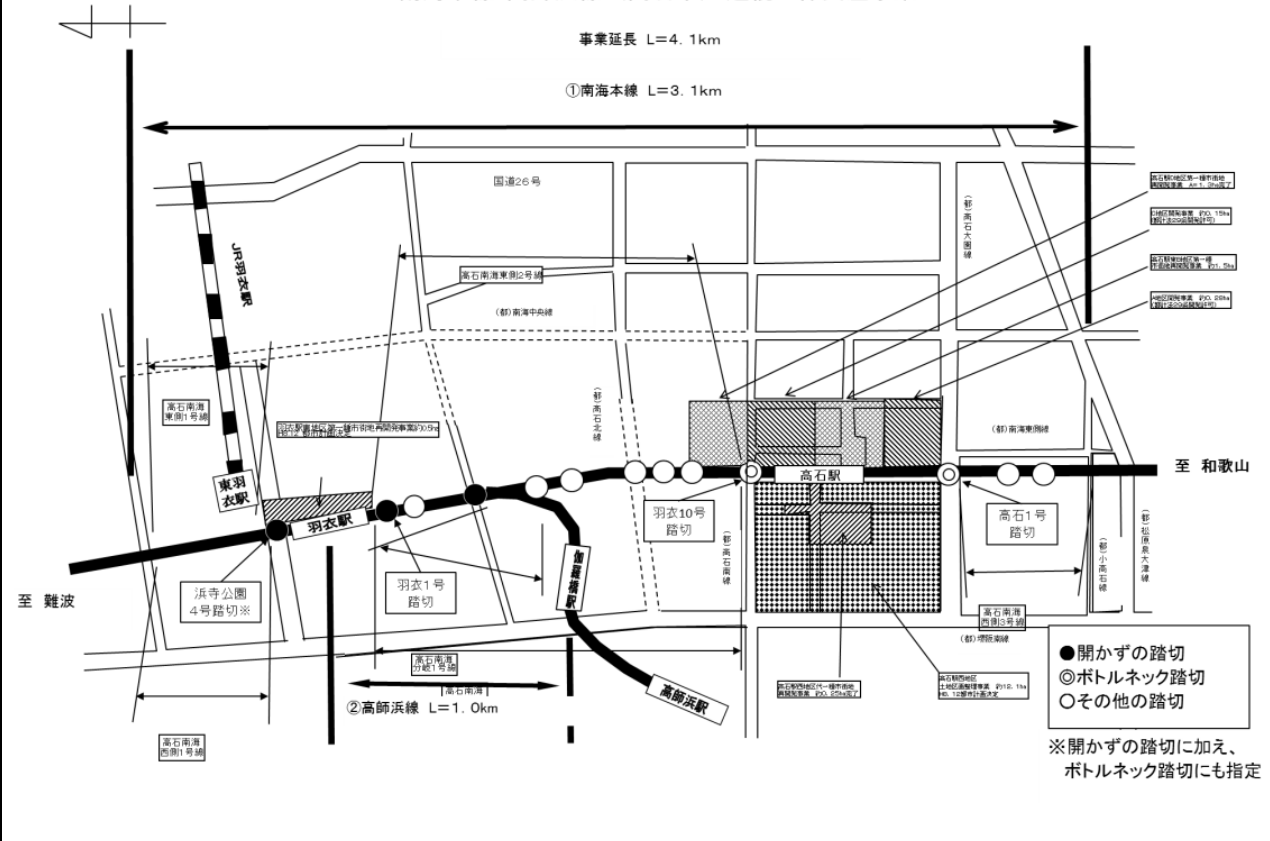
事業概要図

南海本線・高師浜線（高石市）連続立体交差事業

事業延長 L=4.1km

①南海本線 L=3.1km

②高師浜線 L=1.0km



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。